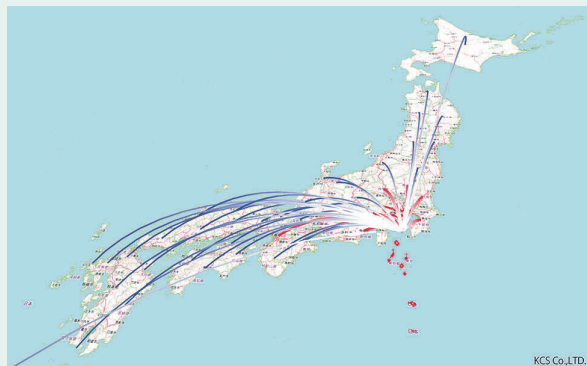


## 2021年度情報処理学会「業績賞」受賞

2022年6月7日に一般社団法人情報処理学会より、サービスイノベーション部の池田 大造<sup>†</sup>は法政大学（東京大学兼務）の今井 龍一氏，国土交通省の重高 浩一氏，新階 寛恭氏，関谷 浩孝氏とともに、「公的統計として活用できる日本最大級の交通ビッグデータ：人口流動統計の開発と実用化」の功績により業績賞を受賞しました。

業績賞は産業界における顕著な業績を顕彰するため、平成13年度に新設され、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業分野への貢献が明確になったものに対して贈られるものです。

業績賞受賞の対象となった人口流動統計は、携帯電話ネットワークの運用データに基づき生成された、エリア間の移動実態を日本全域で24時間365日にわたり把握できる国内最大規模の交通ビッグデータであり、交通総量、移動経路・手段別の交通量推計が可能です。通信業界と土木業界の技術を融合し、業界をまたぐ産学官の連携により創出された世界でも先駆的なイノベーションです。行政機関や民間企業において交通にかかわる統計調査、まちづくり、交通計画、防災計画、観光分野やマーケティングなど幅広い産業界にわたり数多く活用されており、その有用性が高く評価されていることから今回の受賞



人口流動統計の出カイメージ

となりました。公的統計であるパーソントリップ調査では、アンケート調査を補完する交通ビッグデータとして初めて活用され、全国からの流入人口の実態が初めて明らかになりました。国土交通省都市局と連携して作成したビッグデータ利用の手引きが公開されており、地方公共団体が活用しやすい環境も構築しています。関連する取組みが内閣官房の「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言による人口変動分析」などでも活用されています。

<sup>†</sup> 現在、日本電信電話株式会社

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。

